

小城市 長寿命化修繕計画

平成30年12月 追記

平成25年3月

小城市 建設部 建設課

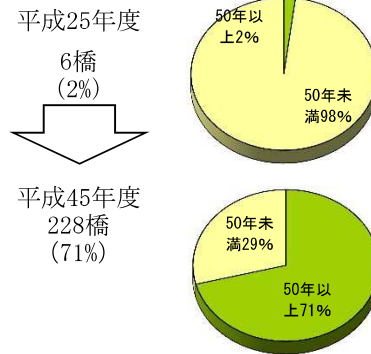
1. 長寿命化修繕計画の目的

1) 背景

小城市が管理する橋梁は、平成25年度現在で322橋架設されている。

このうち、建設後50年を経過する橋梁は、全体の2%を占めており、20年後の平成45年には、71%程度に増加する。

これらの高齢化を迎える橋梁群に対して、従来の対症療法型の維持管理を続けた場合、橋梁の修繕・架け替えに要する費用がきわめて大きくなることが懸念される。

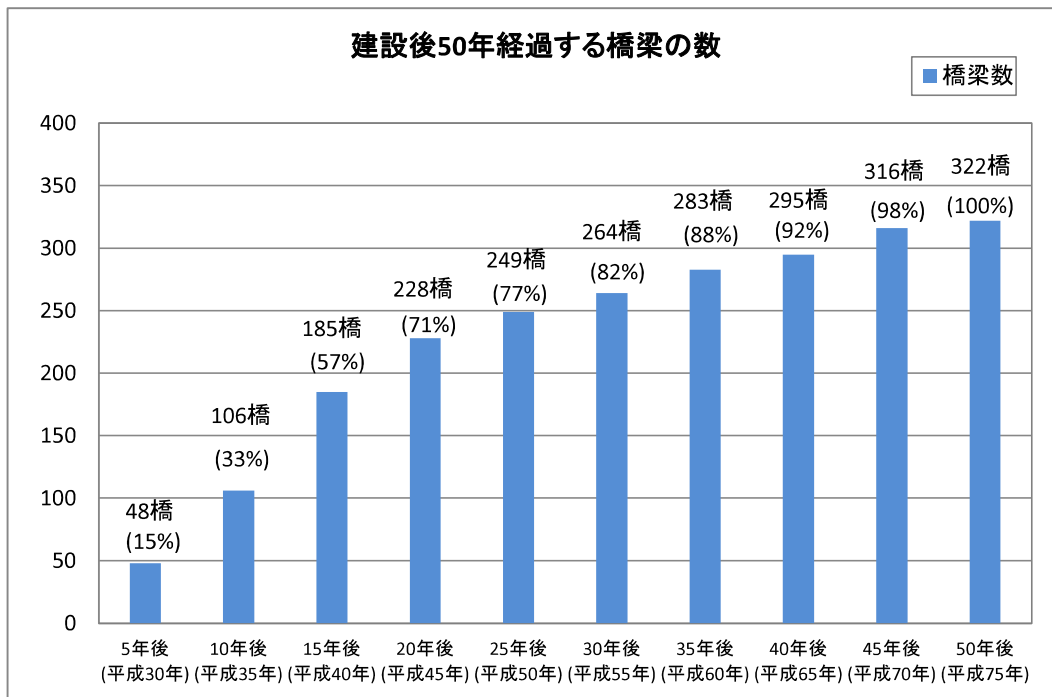


2) 目的

このような背景から、より計画的な橋梁の維持管理を行い、限られた財源の中で効率的に橋梁を維持していくための取り組みが不可欠となる。

コスト縮減のためには、従来の対症療法型から、“損傷が大きくなる前に予防的な対策を行う” 予防保全型へ転換を図り、橋梁の寿命を延ばす必要がある。

そこで小城市では、将来的な財政負担の低減および道路交通安全性の確保を図るために、橋梁長寿命化修繕計画を策定する。



2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

	市道 1級	市道 2級	市道 その他	里道橋	合計
対象管理橋梁数	47	66	204	5	322
うち計画の対象橋梁数	47	66	204	5	322
うちこれまでの計画策定橋梁数	0	0	0	0	0
うち平成24年度計画策定橋梁数	47	66	204	5	322

長寿命化修繕計画の対象：

- ・ 緊急輸送路に位置する橋梁
- ・ 桁下に道路がある橋梁
- ・ 観光地へのアクセス道路に位置する橋梁
- ・ バス路線に位置する橋梁
- ・ 市町村間を結ぶ路線に位置する橋梁
- ・ 国道、主要地方道へのアクセス路線に位置する橋梁
- ・ 近隣に重要な施設がある橋梁

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

- 1) 健全度の把握の基本的な方針
定期点検（概略点検）や日常的な維持管理によって得られた結果に基づき、橋梁の損傷を早期に発見するとともに健全度を把握する。
- 2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針
パトロール車による走行面の変状について点検を行う。

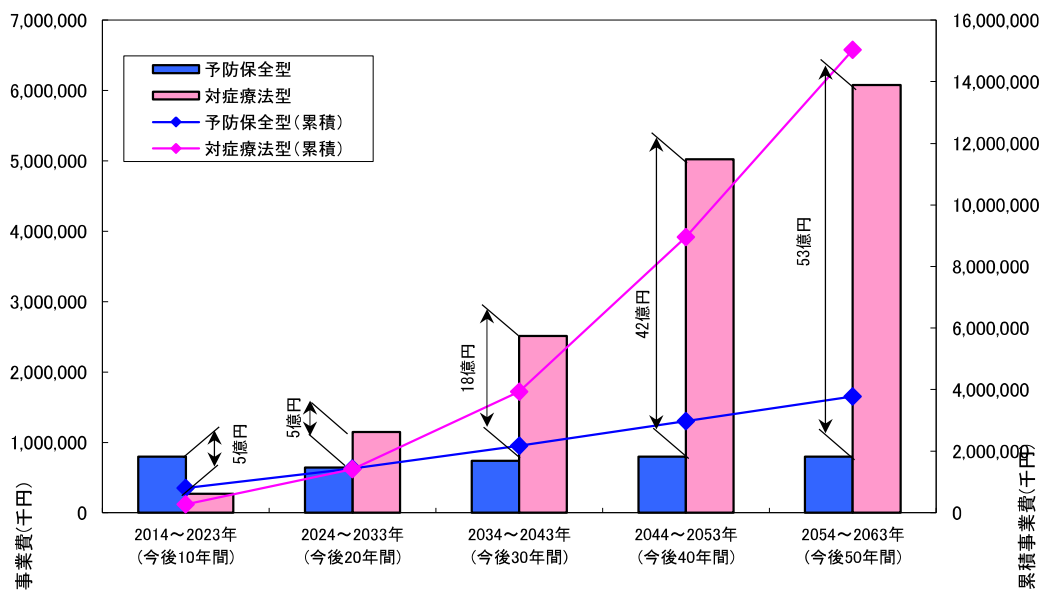
4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

小城市が管理する橋梁の中で、架設後30年以上経過した橋梁は全体の約71%を占めているため、近い将来一斉に架替時期を迎えることが予想される。したがって、計画的かつ予防的な修繕対策の実施へと転換を図り、橋梁の寿命を100年間とすることを目標とし、修繕及び架替えに要するコストを縮減する。

5. 長寿命化修繕計画による効果

長寿命化修繕計画を策定する322橋について、今後50年間の事業費を比較すると、従来の対症療法型が150億円に対し、長寿命化修繕計画の実施による予防保全型が38億円となり、コスト削減効果は112億円となる。

また、損傷に起因する通行制限等が減少し、道路の安全性・信頼性が確保される。



6. 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

- 1) 計画策定担当部署
小城市 建設部 建設課 tel: 0952-37-6120
- 2) 意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者
佐賀大学 理工学部 都市工学専攻 石橋孝治 教授

委員会状況(第1回:平成25年 1月29日)



委員会状況(第2回:平成25年 3月 7日)



7. 点検計画期間

5年に1回の定期点検サイクルを踏まえ、点検間隔が明らかとなるよう計画期間は10年とします。なお、点検結果を踏まえ、毎年度、計画します。

8. 対策の優先順位

点検結果に基づき、効率的な維持及び、修繕が図られるよう必要な対策を講じます。

(優先順位の考え方)

橋梁の対策は、第三者に対する安全性に著しく影響を及ぼし、緊急的に対応が必要な損傷がある橋梁を優先的に実施します。

速やかに補修を行う必要がある区分「Ⅲ」と判定した橋梁については、損傷箇所や損傷程度を考慮し、優先的に対策を実施します。

9. 個別施設の状態等

(橋梁数)

区分	診断結果									
	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
Ⅳ	1	0	0	0	0					
Ⅲ	16	8	6	4	19					
Ⅱ	9	24	34	39	24					
Ⅰ	4	16	28	50	42					
	30	48	68	93	85					

(橋梁数、千円)

区分	修繕計画									
	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
Ⅳ	1									
Ⅲ	2	3	2	3	7	5	9	6	9	
Ⅱ										
Ⅰ										
事業費	39,787	37,768	73,759	116,321	76,946	80,057	41,887	26,297	35,886	

(橋梁数、千円)

区分	診断期間									
	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
橋梁点検	25	44	66	92	84	54	62	74	67	66
事業費	4,860	11,660	11,728	15,049	12,085	13,572	19,176	15,200	12,000	12,000

1.0. 対策内容と実施時期

Table with columns: 台帳番号, 市道名, 橋名, 架設年次, 2018, 2038, 橋長(m), 幅員(m), 上部工形式, 定期点検, 調査設計, 橋元等, NEXCO, 設計, 改修工事, 点検年度, H26~H30の施設ごとの判定区分, 施設ごとの判定区分, 修繕年度, 講ずる措置の内容(完了箇所含む). Rows list various bridges and roads with their respective details and maintenance schedules.

